

近時、死亡災害及び広範囲の地域に影響を与える物損公衆災害という重大事故が発生しています。工期終了が迫る現場も多く、例年、年度末には事故が多発する傾向にありますので、各請負業者へ安全管理をより一層強化・徹底し、全員が気を引き締めて作業にあたるよう注意・指導を強化してください。

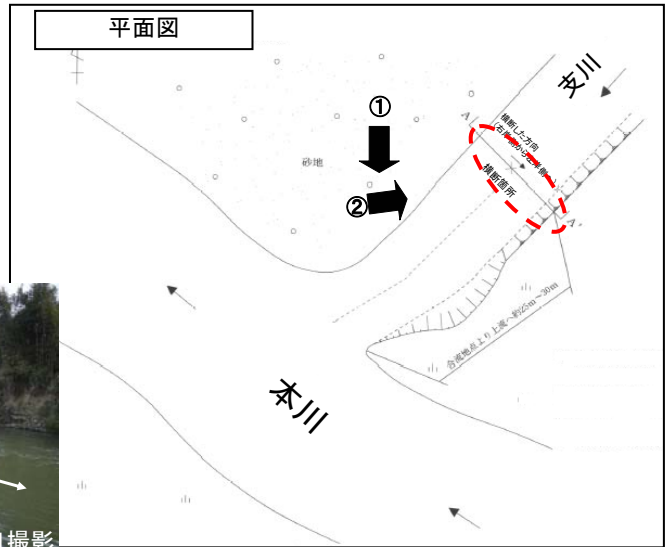
河川測量中に流され死亡

[事故概要]

河川（深浅）横断測量において、作業員が河川を横断中に流され死亡した。

[事故原因]

前日の降雨で増水していた川に、作業員が胴付長靴の着用のみで入り、作業を実施していたためと推察される。



[事故防止対策案]

- 作業員への安全教育の徹底。
- 河川水位等の状況確認を行う。

通信ケーブルを切断

[事故概要]

道路改良工事において、舗装の切削中に路面下の情報BOXを損傷し、携帯電話用のケーブルが一部損傷、短時間ながらポケット通信が繋がりにくい状況が発生した。また、ケーブルTVのケーブルを切断し、3市2町にわたって、通信障害が発生した。

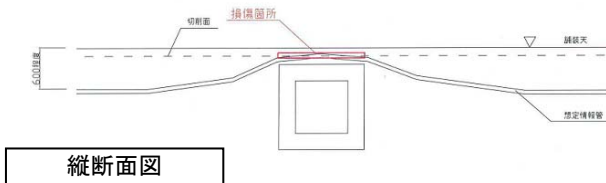
[事故原因]

事前調査を行っていたが、横断水路による情報BOXの浅埋設の可能性について気づかなかったこと。

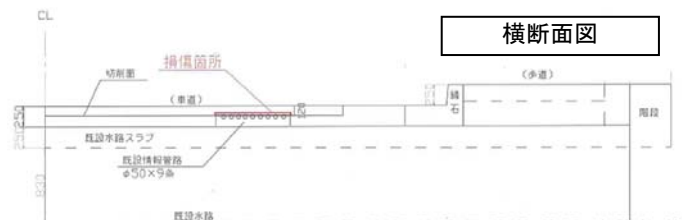


《横断水路》

《切削面・損傷ケーブル》



縦断面図



横断面図

[事故防止対策案]

必要により、浅埋設の可能性のある箇所は試掘を行い、位置と深さを確認する。



盗難事故が多発しています!!

[事例①]

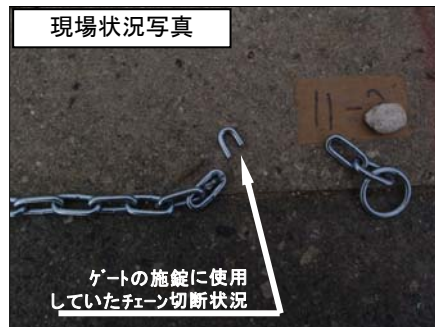
ネットフェンス（H=1.8m）に囲まれた資材置き場から、入り口ゲートの鍵付チェーンが切れ、4tユニック1台（積荷として水タンク、発電機、ワイヤソーを積載）が盗難にあった。車両のドアは施錠しており、現場に鍵はなかった。

発生時間帯：日曜日午後から月曜日早朝の間

対策案

- 施錠は、ニッパーで切られないような、堅固なものとする。
- 発電機等は、クレーン付トラックを横付けして吊り上げられないようにするなど、設置場所を検討する。
- GPS機能の付いた盗難防止機器の設置を検討する。
- 出来るだけ現場に資機材を放置しない。

現場状況写真



[事例②]

作業ヤード出入口の単管バリケードを破られ、4tユニック1台（積荷として高圧洗浄機（発動式）及び水タンクを積載）が盗難にあった。車のドアは施錠していた。

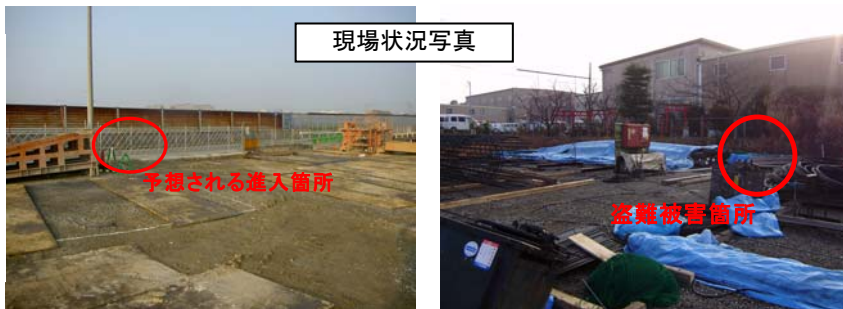
発生時間帯：土曜日夜から月曜日朝の間

[事例③]

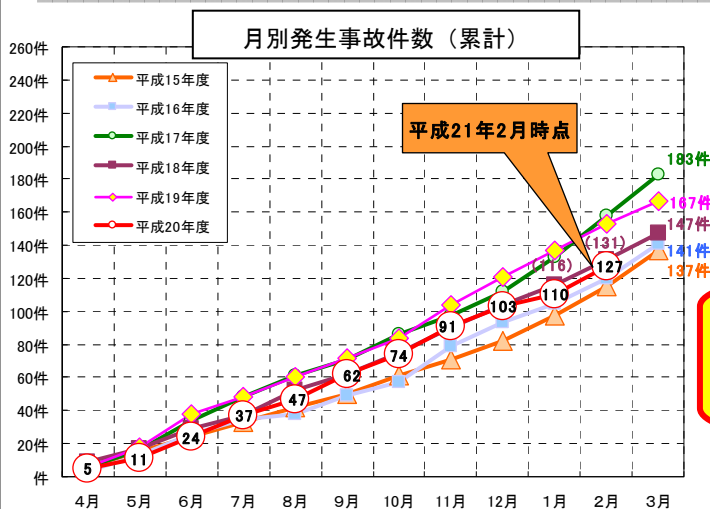
作業ヤードから、出入口の蛇腹ゲートを破られ、現場内の発電機2台が盗難にあった。

発生時間帯：火曜日夜から木曜日早朝の間（水曜日は休日）

現場状況写真



前年度に比べ、27件減と減少傾向 (平成20年度 直轄請負工事等事故の発生状況)



○平成21年2月28日時点の事故発生件数は、左図のとおり、127件でした。

○平成19年度に比べると27件減と、若干の減少が見られます。

○過去に発生した事故の教訓を生かし、小さなミスも疎かにせず、より一層の事故防止に努めて下さい。



3月1日より3月31日は、平成20年度建設業年度末労働災害防止強調月間です。

◆主唱：建設業労働災害防止協会
◇後援：厚生労働省、国土交通省